

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年3月15日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	春日井市		代表者名	伊藤太
担当者部署	総務部		連絡先電話番号	0568-85-6298
担当者役職	ICT推進室長	担当者氏名	荻野史彦	連絡先E-mail
住所	487-8686 愛知県春日井市鳥居松町5-44			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	緊急事態宣言が発出されているなか、どのような研修を実施すべきか、これまでの豊富な事例から提案をいただき、データ活用に関する講義とエクセルの活用を促す実践編と2部構成を完全オンライン・YouTubeで限定配信するという今までないやり方で研修計画を立てることができたから。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年2月10日	14時30分	16時00分		90
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン		最寄駅	不明
	所在地	不明		最寄駅からの交通手段	不明
	派遣形態	事前打合せ(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	ICT利活用に関する研修を実施するにあたり、緊急事態宣言下のなか如何に研修を実施すべきか。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	緊急事態宣言下でも効果的な研修を実施すること	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	ICTの利活用を推進するための研修ということで、行政サービスのデジタル化することでどのようなデータ活用が可能になるのか、という点からの講義が良いと思う。研修実施予定日である3月2日時点でも緊急事態宣言が継続されている可能性が高いことから、オンライン研修が現実的である。オンラインの場合、事前に講義内容を録画し、YouTubeで限定配信することで、リンク先さえ分かれば時間や場所などの受講環境に左右されず受講することができる。さらに、質問等については、slidoを使って受講者同士で質問を見える化すること、事後アンケートで理解度チェックを入れることで、研修効果を測定できる。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	研修内容について合意することができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	◎途中段階であり、具体的な成果物はできていない

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿	3月2日からオンライン形式で研修を実施する	
6. 地域情報化アドバイザー支援の様子		
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。		